

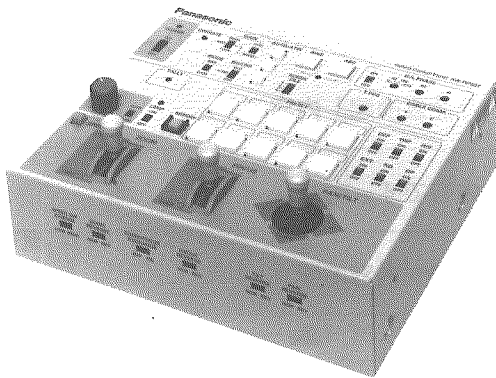
Technical Guide

このテクニカルガイドは修理技術者を対象とした技術資料です。

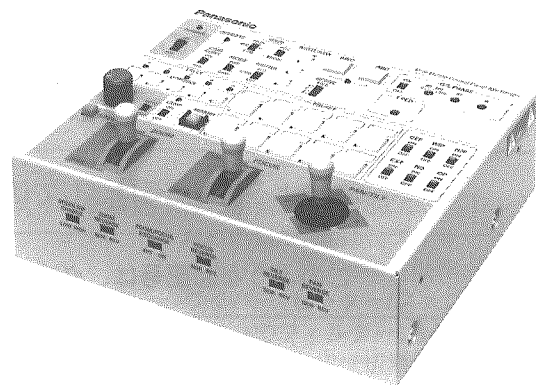
この資料に掲載されている表示価格は消費税抜きです。
保証書は必ず所定事項を記入の上、お客様にお渡しください。

ハイブリッドコントロールパネル
マルチハイブリッドコントロールパネル

AW-RP501
AW-RP505



AW-RP501



AW-RP505

技術サービス区分

- Ⓐ 9,600
- Ⓑ 9,500
- Ⓒ 8,600
- Ⓓ 7,200
- Ⓔ 4,000

標準価格(1998年3月現在)
(税別)

AW-RP501 271,000円
AW-RP505 290,000円

目次

修理作業安全上のご注意2

[AW-RP501]

概要3

定格3

付属品3

システム構成4

外観寸法図5

各部の名称と働き9~14

[AW-RP505]

概要6

定格6

付属品6

システム構成7

外観寸法図8

各部の名称と働き14~22

布線図23

ブロック図(メイン基板(1/2)(AW-RP501))24

ブロック図(メイン基板(2/2))25

ブロック図(SW/CAM基板)26

SW/CAM基板図27

SW/CAM回路図28

メイン回路図(1/2(ケーブル Y/C部))29

メイン回路図(2/2(PT MICOM部))・
ジョイスティック回路図29

メイン基板図30

後面基板回路図31

後面基板基板図・ジョイスティック基板図32

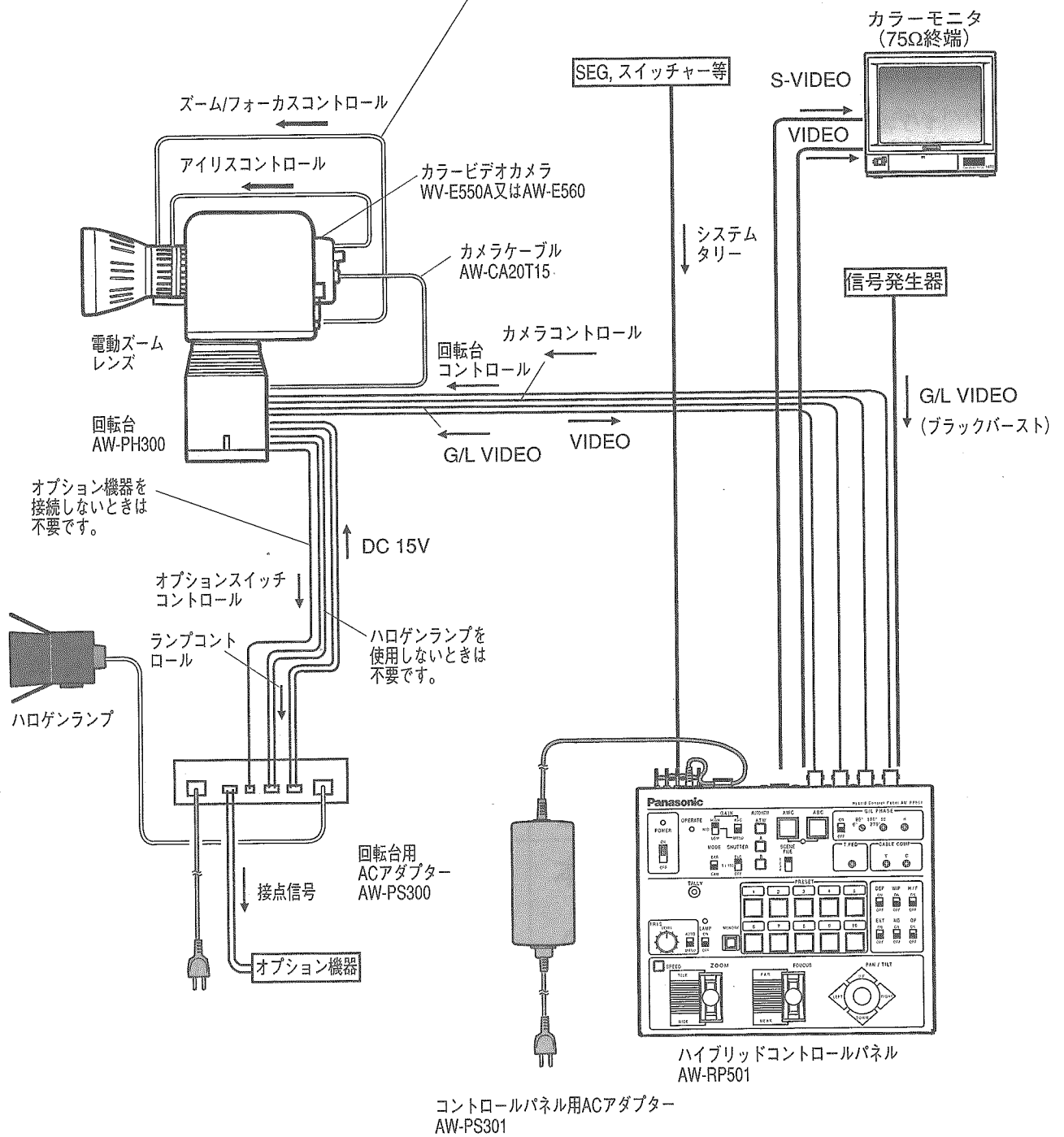
展開図/包装要領33

★本機の外観、仕様(定格)、回路、使用部品は性能向上、その他により予告なく変更することがあります。

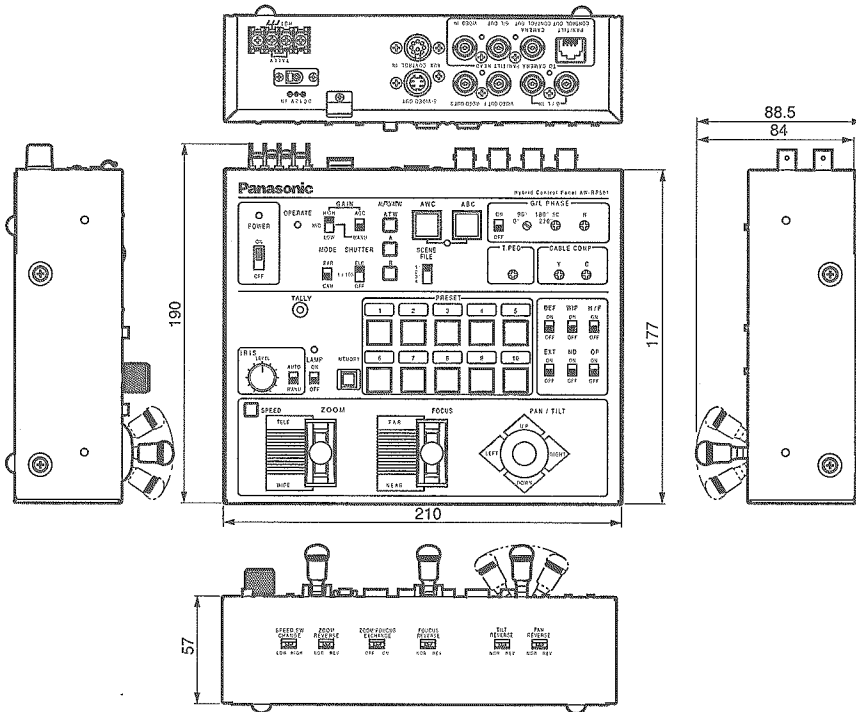
松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 放送システム事業部

■ システム構成

ズーム/フォーカスコントロールは、必ずカメラではなく回転台に接続してください。



■外観寸法図

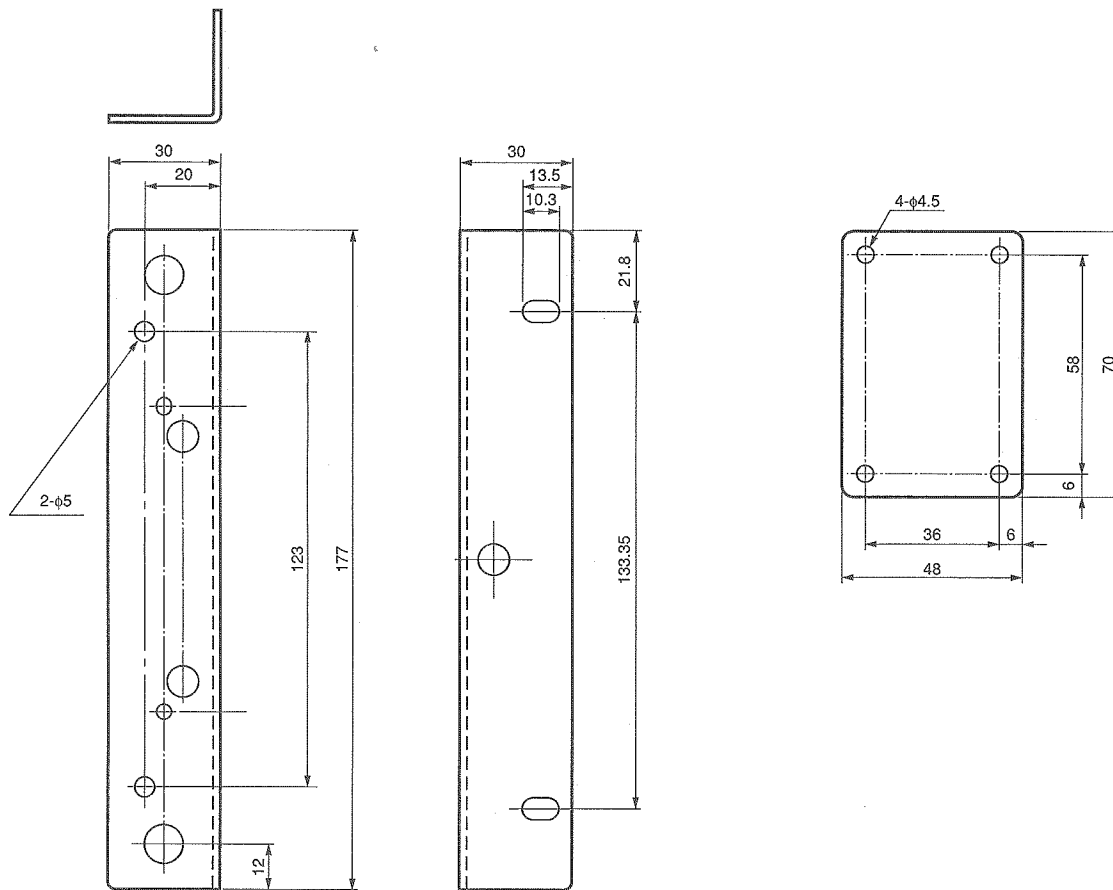


単位	mm
縮尺	1/4

(付属品)

ラックマウント金具

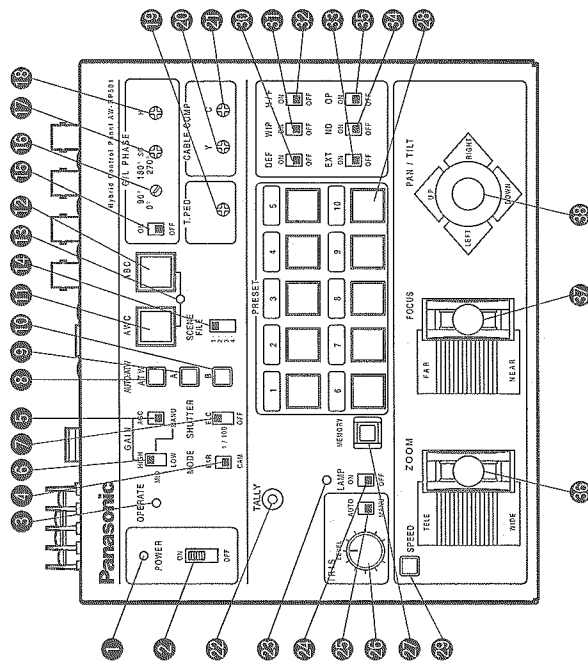
連結金具



単位	mm
縮尺	1/2

各部の名前と働き (AW-RP501)

■操作面



- ① 電源表示LED [POWER]
電源コントロールスイッチ②が[ON]のとき、赤く点灯します。電源コントロールスイッチ②が[OFF]のときは消灯します。
- ② 電源コントロールスイッチ [POWER ON/OFF]
[ON]にすると、カメラと回転台の電源が入ります(電源表示LED点灯)。
[OFF]にするとカメラと回転台の一部の電源が切れます。

ご注意

[OFF]にすると、カメラの電源はすべて切れますが、回転台と本機の通信回路の電源は動作しています。すべての電源を切る場合はコンセントを抜いてください。

- ③ 通信表示LED [OPERATE]
カメラと本機の間で通信が正常に始めると緑色に点灯します。通信に異常があると消灯します。
- ④ モード選択スイッチ [MODE BAR/CAM]
カメラのカラーバー信号とカメラ映像信号を切り換えるときに使用します。[BAR]にすると、本機の映像出力からカラーバー信号が出力され、[CAM]にすると、カメラで撮影している映像が出力されます。

- ⑤ AGC選択スイッチ [GAIN AGC/MANU]
カメラのゲインコントロールを常に自動で使用したいときに[AGC]にします。このスイッチが[AGC]の位置にある時は、ゲイン選択スイッチ⑥は動作しません。
- ⑥ ゲイン選択スイッチ [GAIN HIGH/MID/LOW]
このスイッチはAGC選択スイッチ⑤が[MANU]のときのみ動作します。通常は[LOW]の位置でご使用ください。暗い場所を撮影する時、レンズ絞りを開放にしてもなお十分な映像出力が得られない場合は、[MID]または[HIGH]の位置でご使用ください。
- ⑦ シャッター選択スイッチ [SHUTTER ELC/1/100/OFF]
カメラの電子シャッターを選択します。[ELC]にすると電子シャッターを制御し、明るい場所での撮影時、カメラの感度の感度を自動調整します。[1/100]にするとシャッタースピードは1/100秒になります。[OFF]にすると電子シャッターはOFFになります。
- ⑧ ホワイトバランスATW選択スイッチ [AUTO/ATW ATW]
このスイッチを押すことにより、カメラは常にホワイトバランスの調整を自動的に行います。選択するとスイッチが自照します。
- ⑨ ホワイトバランスAch選択スイッチ [AUTO/ATW A]
このスイッチを押すことにより、ホワイトバランスをカメラのAchに記憶されている状態にします。選択するとスイッチが自照します。このスイッチを選択後、オートホワイトスタートスイッチ⑩を押すとホワイトバランスを自動的に調整し、Achに記憶します。
- ⑩ ホワイトバランスBch選択スイッチ [AUTO/ATW B]
このスイッチを押すことにより、ホワイトバランスをカメラのBchに記憶されている状態にします。選択するとスイッチが自照します。このスイッチを選択後、オートホワイトスタートスイッチ⑪を押すとホワイトバランスを自動的に調整し、Bchに記憶します。
- ⑪ オートホワイトスタートスイッチ [AWC]
ホワイトバランスAch選択スイッチ⑨またはホワイトバランスBch選択スイッチ⑩が選択されているときに、このスイッチを押すと、ホワイトバランスを自動的に調整します。調整した結果は、AchまたはBchに記憶されます。またモード選択スイッチ④が[BAR]になっているときは動作しません。動作中はオートセットLED⑫が点滅し、ホワイトバランスが正常に調整された場合は消灯します。NGの場合は点灯し続けます。

ご注意

撮影している画面内に白がないなどホワイトバランス設定ができない場合があります。詳細はカメラの取扱説明書をご参照ください。

各部の名前と働き (AW-RP501)

12 オートブラックススタートスイッチ [ABC]

このスイッチを押すと、レンズ絞りが自動的に閉じ、ブラックバランスをセツトします。ブラックバランスをセツトするときは、レンズ絞りオート/マニュアル選択スイッチ⑫は[AUTO]でご使用ください。動作中はオートセツトLED⑬が点滅し、ブラックバランスが正常に調整された場合は消灯します。NGの場合は点灯し続けます。

トータルペダスタルが低すぎる時はNGになる場合があります。トータルペダスタル調整ボリューム⑭でトータルペダスタルを合わせ(「操作の手順」27ページ参照)、再度ブラックバランス調整をおこなってください。

13 オートセツト表示LED

オートホワイトスタートスイッチ⑪またはオートブラックススタートスイッチ⑫を押して、ホワイトバランスまたはブラックバランスを調整中は、このLEDが点滅します。調整が正常に終了すると消灯します。NGの場合は点灯し続けます。

14 シーンファイル選択スイッチ [SCENE FILE 1/2/3/4]

カメラ側であらかじめ設定されたシーンファイルの選択を行います。ただし、[4]はカメラのシーンファイル[USER A]または[USER B]になります。(WV-E550, AW-E560接続の場合)

15 G/L位相調整スイッチ [G/L PHASE ON/OFF]

カメラを外部同期で使用するとき、G/L位相を調整するためのスイッチです。G/Lサブキャリア位相およびG/L水平位相を調整するときのみ[ON]にし、通常は[OFF]にしてください。

16 G/Lサブキャリア位相粗調整スイッチ [G/L PHASE 0°/90°/180°/270°]

カメラを外部同期で使用するとき、G/L入力信号と映像出力信号の色位相を粗調整するためのスイッチです。G/Lサブキャリア位相微調整ボリューム⑯と組み合わせて360°以上の可変範囲を持っています。調整を行うときは、G/L位相調整スイッチ⑮を[ON]にしてください。

17 G/Lサブキャリア位相微調整ボリューム [G/L PHASE SC]

カメラを外部同期で使用するとき、G/L入力信号と映像出力信号の色位相を微調整するためのボリュームです。G/Lサブキャリア粗位相調整スイッチ⑮と組み合わせてご使用ください。調整を行うときは、G/L位相調整スイッチ⑮を[ON]にしてください。

18 G/L水平位相調整ボリューム [G/L PHASE H]

カメラを外部同期で使用するとき、G/L入力信号と映像出力信号の水平位相を調整するためのボリュームです。調整を行うときは、G/L位相調整スイッチ⑮を[ON]にしてください。

19 トータルペダスタル調整ボリューム [T.PED]

カメラのY(輝度)信号のペダスタルレベルの設定を調整することができます。カメラを2台以上使用するシステムでカメラのペダスタルレベルを合わせると、さまざまな処理のために、不連続に動くことがあります。

20 ケーブル補償輝度信号調整ボリューム [CABLE COMP Y]

映像出力信号のY(輝度)信号レベルを、回転台と本機間のケーブルの長さに合わせて調整します。調整はモード選択スイッチ④を[BAR]にして、映像信号出力にウェーブフォームモニタ、ベクトルスコープなどの測定器を接続して行います。回転台と本機間のケーブルの長さが300mを越える場合は、あらかじめ回転台内部のケーブル補償スイッチを「ON」にしてください(詳細は、「回転台の設定」について「21ページ」または回転台の取扱説明書をご参照ください)。始めに、このボリュームでY(輝度)信号レベルを調整し、次にケーブル補償色信号調整ボリューム②でC(色)信号レベルの調整を行います。これを繰り返すことで本機の映像出力をカメラ出力に合わせます。

このボリュームを回すとY(輝度)信号レベルだけでなく、映像信号レベル全体が変化します。

21 ケーブル補償色信号調整ボリューム [CABLE COMP C]

映像出力信号のC(色)信号レベルを、回転台と本機間のケーブルの長さに合わせて調整します。調整はモード選択スイッチ④を[BAR]にして、映像出力にウェーブフォームモニタ、ベクトルスコープなどの測定器を接続して行います。回転台と本機間のケーブルの長さが300mを越える場合は、あらかじめ回転台内部のケーブル補償スイッチを「ON」にしてください(詳細は、「回転台の設定」について「21ページ」または回転台の取扱説明書をご参照ください)。始めに、ケーブル補償輝度調整ボリューム②でY(輝度)信号レベルを調整し、次にこのボリュームでC(色)信号レベルの調整を行います。これを繰り返すことで本機の映像出力をカメラ出力に合わせます。

22 システムタリールED [TALL Y]

特殊効果装置(SEG)やビデオスイッチャーなどから、システムタリール信号入力端子⑤にタリール信号が入力されると、赤く点灯します。

23 ランプ表示LED [LAMP]

ランプスイッチ⑥が[ON]のとき、赤く点灯します。回転台用ACアダプター(AW-PS300)に接続したランプが切れているときは点滅します。ランプスイッチ⑥が[OFF]のとき、消灯します。

各部の名前と働き (AW-RP501)

ご注意

回転台用ACアダプター(AW-PS300)に接続するハロゲンランプは250W以上500W以下のものを使用してください。250W以下のランプを使用すると、ランプスイッチ^②が[ON]のとき、ランプが切れていなくても、このLEDが点滅することがあります。

- ② ランプスイッチ [LAMP ON/OFF]
回転台用ACアダプター(AW-PS300)のランプ用ACアウトレットに接続したハロゲンランプの点灯/消灯をコントロールします。[ON]にするとハロゲンランプの電源が入ります(ランプLED点灯)。[OFF]にするとハロゲンランプの電源が切れます。
- ③ レンズ絞りオート/マニュアル選択スイッチ [IRIS AUTO/MANU]
[AUTO]にするとレンズは自動絞りの状態となり、レンズに入る光の量により自動的に絞りを調整します。[MANU]にするとレンズ絞り調整ボリューム^④でレンズの絞りをクローズからオープンまで動かすことができます。プリセットメモリースイッチ^⑤で、プリセットポジション選択スイッチ^⑥にレンズの絞りをメモリーする場合は、このスイッチを[MANU]にしてください。[AUTO]のときは、レンズの絞りはメモリーされません。
- ④ レンズ絞り調整ボリューム [IRIS LEVEL]
レンズ絞りオート/マニュアル選択スイッチ^③が[MANU]のとき、このボリュームでレンズの絞りをクローズからオープンまで動かすことができます。時計方向でレンズの絞りは開く方向に、反時計方向でレンズの絞りは閉じる方向に動きます。
- ⑤ レンズ絞りオート/マニュアル選択スイッチ^③が[AUTO]のとき、あらかじめカメラが[AUTO IRIS ADJ ON]の設定になっている場合は、このボリュームでALCの収束レベルの微調整ができます。詳細はカメラの取扱説明書をご参照ください。
- ⑥ レンズ絞りオート/マニュアル選択スイッチ^③が[MANU]のとき、プリセットポジション選択スイッチ^⑦を押しプリセットメモリーが呼び出されると、このボリュームの位置にかかわらず、レンズの絞りはプリセットメモリーした値になります。その後、このボリュームを回すと、レンズ絞りはボリュームの目盛り^⑧の値に変化します。
- ⑦ プリセットメモリースイッチ [MEMORY]
回転台のパン/チルトの位置、レンズのズーム/フォーカス/絞り(レンズ絞りオート/マニュアル選択スイッチ^③が[MANU]時)およびカメラのホワイトバランス(ATW, Ach, Bchのいずれか一つを選択)を10ポイントまでプリセットメモリーすることができます。

プリセットメモリーをするには、最初に回転台のパン/チルト位置、レンズのズーム、フォーカス、絞りおよびカメラのホワイトバランスメモリーの選択(ATW, Ach, Bchのいずれか)を設定します。次にこのスイッチを押しながら(このスイッチは黄緑色に点灯し、プリセットポジション選択スイッチ^③は10ポジションすべてが点滅します)、プリセットしたい番号のスイッチ^⑧の10個のスイッチの内、プリセットしたい番号のスイッチを同時に押します。メモリーされると、プリセットポジション選択スイッチ^③のメモリーした位置のスイッチのみが点灯します。

- ⑧ プリセットポジション選択スイッチ [PRESET]
あらかじめメモリーしておいた10ポイントまでの、回転台のパン/チルト、レンズのズーム/フォーカス/絞りおよびカメラのホワイトバランス設定を呼び出し、回転台、レンズ、カメラをプリセット動作させます。
プリセットメモリーをするには、最初に回転台のパン/チルト位置、レンズのズーム、フォーカス、絞りおよびカメラのホワイトバランスメモリーの選択(ATW, Ach, Bchのいずれか)を設定します。次にプリセットメモリースイッチ^⑦を押しながら(プリセットメモリースイッチ^⑦は黄緑色に点灯し、プリセットポジション選択スイッチ^③は10ポジションすべてが点滅します)、プリセットしたい番号のスイッチ^⑧の10個のスイッチの内、プリセットしたい番号のスイッチを同時に押します。メモリーされると、プリセットポジション選択スイッチ^③のメモリーした位置のスイッチのみが点灯します。
- ⑨ スピード切換スイッチ [SPEED]
スピード極性切換スイッチ^⑩が[L OW]のとき、このスイッチを押しながらズーム操作レバー^⑪、フォーカス調整レバー^⑫およびパン/チルト操作レバー^⑬を操作すると、低速で動作します。スピード極性切換スイッチ^⑩が[HIGH]のとき、このスイッチを押しながらそれぞれのレバーを操作すると、高速で動作します。このスイッチは押している間、自照します。
- ⑩ デフロスタスイッチ [DEF ON/OFF]
屋外回転台などのデフロスタ機能を持つ回転台に接続したとき、デフロスタのON/OFFができます。
- ⑪ ワイパースイッチ [WIP ON/OFF]
屋外回転台などのワイパー機能を持つ回転台に接続したとき、ワイパーのON/OFFができます。
- ⑫ ヒーター/ファンスイッチ [H/F ON/OFF]
屋外回転台などのヒーター/ファン機能を持つ回転台に接続したとき、ヒーター/ファンのON/OFFができます。

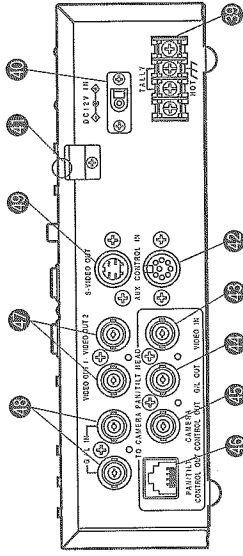
各部の名前と働き (AW-RP501)

- ③ レンズエクステンダースイッチ [EXT ON/OFF]
エクステンダー機能を持つレンズに接続したとき、レンズエクステンダーのON/OFFができます。詳細はレンズおよび回転台の取扱説明書をご参照ください。
- ④ NDフィルタースイッチ [ND ON/OFF]
NDフィルター機能を持つレンズに接続したとき、NDフィルターのON/OFFができます。詳細はレンズおよび回転台の取扱説明書をご参照ください。
- ⑤ オプションスイッチ [OP ON/OFF]
回転台用ACアダプター(AW-PS300)のオプションスイッチ端子の短絡/開放をコントロールします。[ON]にするとオプションスイッチ端子を短絡し、[OFF]にすると開放にします。詳細は回転台用ACアダプターの取扱説明書をご参照ください。
- ⑥ ズーム操作レバー [ZOOM TELE/WIDE]
レンズのズームを操作します。レバーを倒す角度によって、ズームスピードが変化します。ズーム操作レバー方向切換スイッチ⑦が[NOR]のとき、レバーを[TELE]側に倒すと「望遠」側へ、[WIDE]側に倒すと「広角」側へ動きます。ズーム操作レバー方向切換スイッチ⑦を[REV]にすると、反対方向へ動作させることができます。ズーム/フォーカス操作レバー入替スイッチ⑧により、フォーカス調整レバー⑨と機能を入れ替えることができます。
- ⑦ フォーカス調整レバー [FOCUS FARE/NEAR]
レンズのフォーカスを調整します。レバーを倒す角度によって、可変速コントロールが可能で、フォーカス調整レバー方向切換スイッチ⑨が[NOR]のとき、レバーを[FA]側に倒すと「遠」側へ、[NEAR]側に倒すと「近」側へ焦点が合います。フォーカス調整レバー方向切換スイッチ⑨を[REV]にすると、反対方向へ動作させることができます。ズーム/フォーカス操作レバー入替スイッチ⑧により、ズーム操作レバー⑩と機能を入れ替えることができます。
- ⑧ パンチルト操作レバー [PANTILT UP/DOWN/LEFT/RIGHT]
回転台のパンチルト動作をコントロールします。レバーを倒す角度によって、可変速コントロールが可能で、パンチルト操作レバー方向切換スイッチ⑪が[NOR]のとき、レバーを[UP]側に倒すと「上」側を、[DOWN]側に倒すと「下」側を撮影する方向へ動きます。パンチルト操作レバー方向切換スイッチ⑪を[REV]にすると、反対方向へ動作させることができます。パンチルト操作レバー方向切換スイッチ⑪が[NOR]のとき、レバーを[LEFT]側に倒すと「左」側へ、[RIGHT]側に倒すと「右」側へ動きます。パンチルト操作レバー方向切換スイッチ⑪を[REV]にすると、反対方向へ動作させることができます。

ご注意

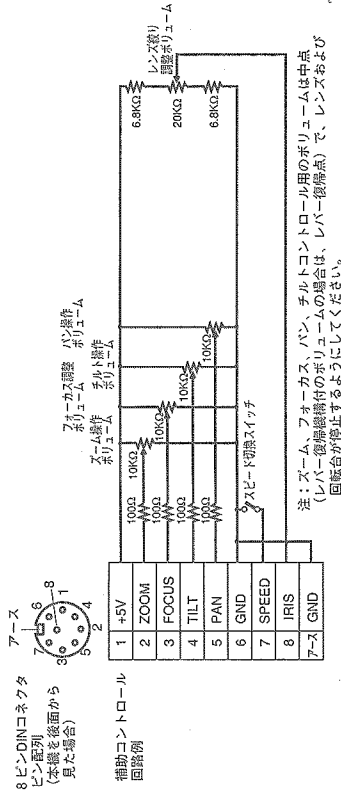
チルト操作レバー方向切換スイッチ⑫、パンチルト操作レバー方向切換スイッチ⑬により、動作方向を変える事ができますが、回転台設置時に据え置き設置か、又は吊り下げ設置かに合わせて、必ず回転台内部の設置方向設定スイッチで動作方向を切り換えてください。回転台内部の設置方向設定スイッチの切り換えを行わないと、パンチルトの動作方向が逆転し、回転台の動作範囲の制限(リミッター)が正常にメモリーできません。切替方法等の詳細は、「回転台の設置について」(21ページ)または回転台の取扱説明書をご参照ください。

後面



- ① システムタリ信号入力端子 [TALLY] (2ピン端子)
特殊効果装置(SEG)やビデオスイッチャーなどのタリコネクタと接続します。[HOT]端子がグラウンドレベルになると、システムタリLED④および回転台(AW-PH300)のタリLEDが赤く点灯します。
- ② DC+12V入力コネクタ [DC12V IN] (DCジャック)
ACアダプター AW-PS301(別売品)を接続します。
- ③ コードクランブ
DC+12V入力コネクタ⑧に接続したACアダプター AW-PS301(別売品)のDCコードをクランブし、コード抜けを防止します。
- ④ 補助コントロール入力コネクタ [AUX CONTROL IN] (8ピンDINコネクタ)
本機の外部から回転台のパンチルト、レンズのズーム、フォーカス、絞りを制御する場合に、コントロール信号を入力するコネクタです。

各部の名前と働き (AW-RP501)



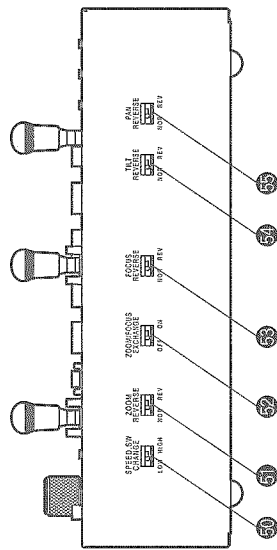
ご注意

このコネクタを使って外部からコントロールを行う場合は、本機のレンズ絞り調整ポリウム②は中点(目盛りが真上)の位置に調整し、スピード切換スイッチ④、ズーム操作レバー⑤、フォーカス調整レバー⑥、パン/チルト操作レバー⑦は同時に操作しないでください。これらのポリウム、スイッチ、レバーと、外部からのコントロールを同時に使用すると誤動作する場合があります。

- ④ 映像信号入力コネクタ [TO CAMERA PAN/TILT HEAD VIDEO IN] (BNCコネクタ)
回転台の映像信号出力コネクタ[VIDEO OUT]と同軸ケーブルで接続します。接続するケーブルは5C-2V相当で500mまで延長可能です。
- ④ G/L信号出力コネクタ [TO CAMERA PAN/TILT HEAD G/L OUT] (BNCコネクタ)
カメラを外部同期で使用するとき、回転台のG/L信号入力コネクタ[G/L IN]と同軸ケーブルで接続します。接続するケーブルは5C-2V相当で500mまで延長可能です。
- ④ カメラコントロール信号出力コネクタ [TO CAMERA PAN/TILT HEAD CAMERA CONTROL OUT] (BNCコネクタ)
回転台のカメラコントロール信号入力コネクタ[CAMERA CONTROL IN]と同軸ケーブルで接続します。接続するケーブルは5C-2V相当で500mまで延長可能です。
- ④ 回転台コントロール信号出力コネクタ [TO CAMERA PAN/TILT HEAD PAN/TILT CONTROL OUT] (RJ-45 8ピンモジュラージャック)
回転台の回転台コントロール信号入力コネクタ[P/T CONTROL IN]と10BASE-Tストレートケーブルで接続します。接続するケーブルは10BASE-T(UTPカテゴリー5)相当で500mまで延長可能です。

- ④ 映像信号出力コネクタ [VIDEO OUT 1,2] (BNCコネクタ)
回転台から本機までのケーブルの長さに合わせて、ケーブル補償回路で調整された映像信号が出力されます。2つの出力コネクタがあり、モニター、特殊効果装置(SEG), VTRなどの映像入力に同軸ケーブルで接続します。
- ④ G/L信号入力コネクタ [G/L IN] (BNCコネクタ)
カメラを外部同期で使用するとき、ブラックバースト信号または映像信号(VBS)を同軸ケーブルで入力します。2つのコネクタは75Ω自動終端になっているので、どちらか一方に入力してください。他方はループスルー出力としてご使用になれます。
- ④ S映像信号出力コネクタ [S-VIDEO OUT] (4ピンS-コネクタ)
Y(輝度)信号とC(色)信号が出力されます。モニターやS-VHS方式のVTRなどのS映像入力に接続します。

前面



- ⑤0 スピード極性切換スイッチ [SPEED SW CHANGE LOW/HIGH]
スピード切換スイッチ⑤の極性を切り換えます。このスイッチが[LOW]のとき、スピード切換スイッチ⑤を押しながらズーム操作レバー⑤、フォーカス調整レバー⑥およびパン/チルト操作レバー⑦を操作すると、低速で動作します。このスイッチが[HIGH]のとき、スピード切換スイッチ⑤を押しながらそれぞれのレバーを操作すると、高速で動作します。
- ⑤1 スピード極性切換はプリセットメモリースイッチ⑦を押しながらスピード切換スイッチ⑤を押しても切換えることができます。再度、この操作を行うと、元の状態に戻ります。本機を卓等に設置し、スピード極性切換スイッチ⑤の切り換えが困難な場合はこの方法を行ってください。
- ⑤1 ズーム操作レバー方向切換スイッチ [ZOOM REVERSE NOR/REV]
ズーム操作レバー⑤の動作方向を切り換えます。このスイッチが[NOR]のとき、ズーム操作レバー⑤を[TELE]側に倒すと「望遠」側へ、[WIDE]側に倒すと「広角」側へ、レンズのズームが動きます。このスイッチを[REV]にすると、反対方向へ動作させることができます。

各部の名前と働き (AW-RP501)

[REV]に切り換えるとパネルの表示と動作方向が合わなくなります。このときはパネルに付属のシールを貼ってください。

② ズーム/フォーカス操作レバー入替スイッチ

[ZOOM/FOCUS EXCHANGE OFF/ON]

このスイッチを[ON]にすると、ズーム操作レバー③とフォーカス調整レバー⑦の機能を入れ替えることができます。ズーム操作レバー③とフォーカス調整レバー⑦の機能の入れ替えを行わないときは、[OFF]にしてください。

[ON]に切り換えるとパネルの表示と動作方向が合わなくなります。このときはパネルに付属のシールを貼ってください。

③ フォーカス調整レバー方向切換スイッチ [FOCUS REVERSE NOR/REV]

フォーカス調整レバー⑦の動作方向を切り換えます。このスイッチが[NOR]のとき、フォーカス調整レバー⑦を[FAR]側に倒すと「遠」側へ、[NEAR]側に倒すと「近」側へ、レンズの焦点が合います。このスイッチを[REV]にすると、反対方向へ動作させることができます。

[REV]に切り換えるとパネルの表示と動作方向が合わなくなります。このときはパネルに付属のシールを貼ってください。

④ チルト操作レバー方向切換スイッチ [TILT REVERSE NOR/REV]

パン/チルト操作レバー⑤のチルト動作の方向を切り換えます。このスイッチが[NOR]のとき、パン/チルト操作レバー⑤を[UP]側に倒すと「上」側へ、[DOWN]側に倒すと「下」側を撮影する方向へ回転が動きます。このスイッチを[REV]にすると、反対方向へ動作させることができます。

[REV]に切り換えるとパネルの表示と動作方向が合わなくなります。このときはパネルに付属のシールを貼ってください。

⑤ パン操作レバー方向切換スイッチ [PAN REVERSE NOR/REV]

パン/チルト操作レバー⑥のパン動作の方向を切り換えます。このスイッチが[NOR]のとき、パン/チルト操作レバー⑥を[LEFT]側に倒すと「左」側へ、[RIGHT]側に倒すと「右」側へ回転が動きます。このスイッチを[REV]にすると、反対方向へ動作させることができます。

[REV]に切り換えるとパネルの表示と動作方向が合わなくなります。このときはパネルに付属のシールを貼ってください。

ご注意

チルト操作レバー方向切換スイッチ④、パン操作レバー方向切換スイッチ⑤により、動作方向を変える事ができますが、回転台設置時に据え置き設置か、又は吊り下げ設置かに合わせて、必ず回転台内部の設置方向設定スイッチで動作方向を切り換えてください。回転台内部の設置方向設定スイッチの切り換えを行わないと、パン/チルトの動作方向が逆転し、回転台の動作範囲の制限(リミッター)が正常にメモリーできません。切替方法等の詳細は、「回転台の設置について」(21ページ)または回転台の取扱説明書をご参照ください。

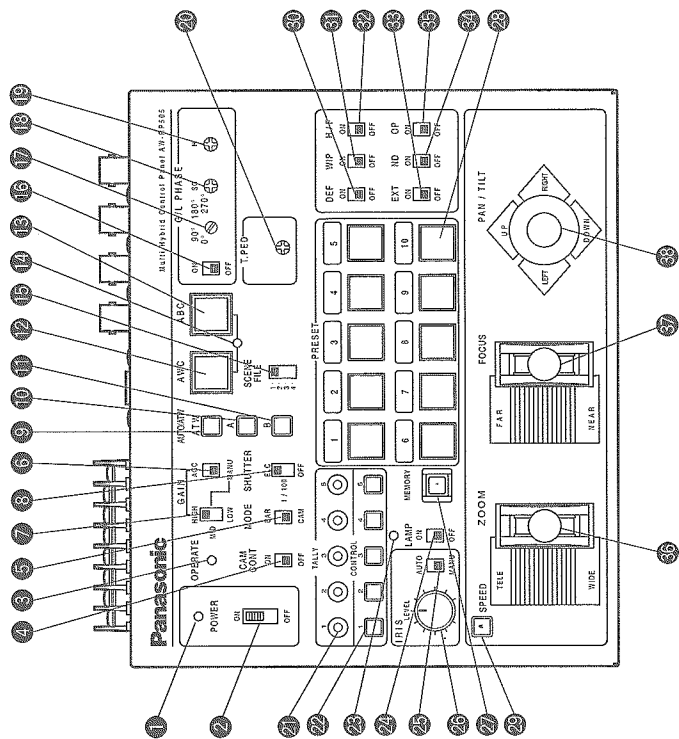
各部の名前と働き (AW-RP505)

ご注意

カメラおよび回転台をコントロールするときは、マルチポートハブの電源スイッチが[ON]になっている必要があります。

カメラおよび回転台の設定・コントロールは、カメラ/回転台選択スイッチ②で選択したカメラおよび回転台に対して行われます。カメラの設定は、カメラ/回転台選択スイッチ②でカメラを選択し、カメラコントロールスイッチ④を[ON]に行ってください。カメラ設定終了後はカメラコントロールスイッチ

操作画面



松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社
No.HI-003 1998年5月

放送システム事業部
品質管理課発行